

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
4年前期	4	1	必修
担当教員			
物質生命科学科教員			
添付ファイル			

講義概要	各専門分野の外国雑誌や書籍を用いて卒業研究担当教員毎のグループで講読や輪読を行い、それらの内容について討論や発表を行い、プレゼンテーションや、ディスカッションができる。
授業計画	1 担当教員が、学生の卒業研究テーマを考慮した上でセミナーの内容を指定する。セミナーの進め方に関しても研究室ごとに多少の差異がある。
授業形態	セミナー形式。 アクティブラーニング：①:13回, ②:5回, ③:5回, ④:5回, ⑤:5回, ⑥:3回
達成目標	卒業研究を進めるうえで必要な基礎知識や専門知識を理解できる。また、その分野における最先端の研究・開発状況などを学び、さらに、社会に出てから必要とされる文献等の読解力を養うことができる。
評価方法・フィードバック	出席状況、予習・復習の状況、理解の程度などを総合的に判断し評価する。原則として、課題等のフィードバックは次回以降の授業内やWEB等を通じて行うが、具体的な方法・タイミングなどは指導教員より都度伝える
評価基準	1) 「合」：上記目標を十分に達成している。 2) 「否」：その他。
教科書・参考書	担当教員が、グループ毎にテキスト・参考書または資料を指定する。
履修条件	なし。
履修上の注意	「セミナー」においては学生が自ら学ぶ態度が特に重要であり、セミナーへの出席は勿論のこと、予習と復習は重要である。また、自分の調べた内容を他人に理解して貰えるように発表する努力が大切である。各自の発表に対して積極的に質疑や討論を交わし、理解を深めるよう努力すること。
準備学習と課題の内容	文献等の内容に関係する用語等についてあらかじめ確認し、概要を把握しておくこと。毎回の予習復習時間は平均して1.5時間程度だが、開講スケジュールなどによって異なることから、必要に応じて指導教員より都度伝える
ディプロマポリシーとの関連割合(必須)	知識・理解:%, 思考・判断:%, 関心・意欲:%, 態度:%, 技能・表現:%
DP1 知識・理解	
DP2 思考判断	
DP3 関心意欲	
DP4 態度	
DP5 技能・表現	